

◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

1、字句〓雲騰

2、形式〓半紙タテ使用。中央に「雲騰」と臨書し、左余白に「〇〇臨」と調和を工夫して書き入れる。

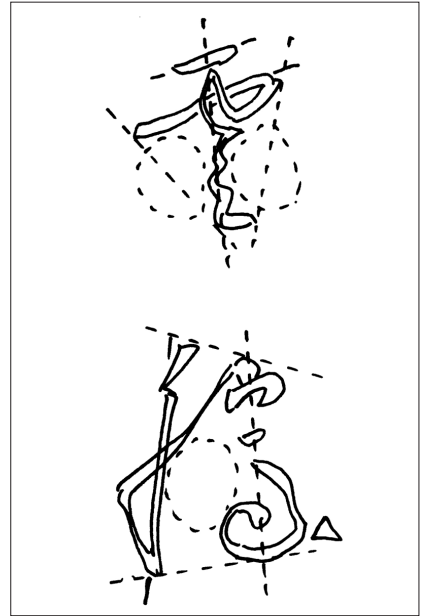
3、概観〓千字文は四字ずつで句をなし、すべてで二百五十句。書作として現存するものには、智永を初めとして、懷素・歐陽詢・褚遂良・孫過庭・高宗等があるが、智永真草千字文と、この懷素草書千字文がもっとも名高い。

智永は、王羲之七世の孫と伝えられ、永欣寺閣上にこもって八百本もの千字文を書き、浙江の諸寺に施入したという。懷素にも多くの千字文が伝わっているが、多くは偽作ではないかと疑われている。

4、各字のポイント

雲 雨冠を横広にし、一・二画は右肩を上げ、「云」は極端に幅を狭くして、左右に広い余白をとる。二画目から収筆まで連綿している。全体の形は、前のめりの動勢である。

騰 偏の二画目の傾きが目立つが、旁でうまくバランスをとる。偏の三画目は、二画目のハネを受け下から入筆。旁の一画目に連綿。「馬」では右下に移動しながら△で左へ転回し、筆を引き上げ結ぶ。



草書千字文・唐 懷素

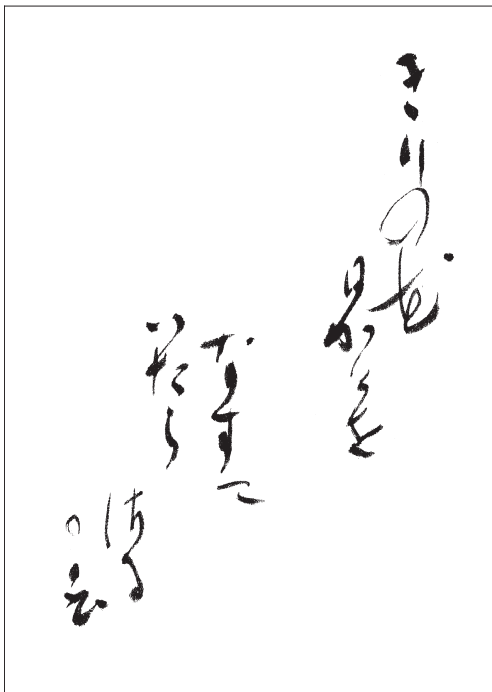
半紙課題(予告) (五月二十二日締切)

平岡華雪先生書 天道は親無し(老子)



訳：天道には不公平がなく、常に善人の味方である。

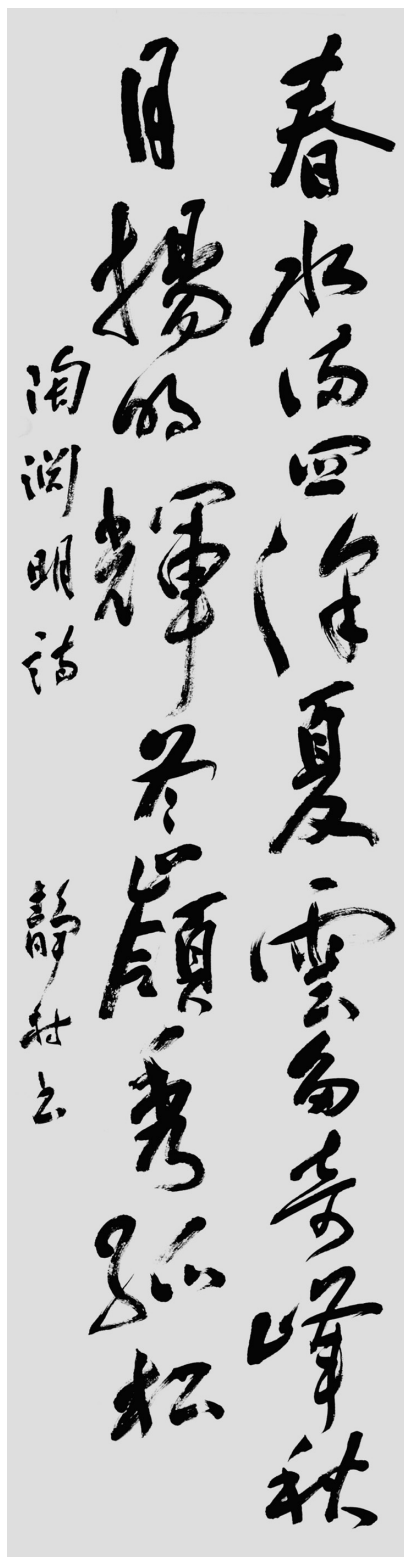
平岡華雪先生書 桐の花日かけをなすに至らざる(虚子)



A

鈴木静村先生書

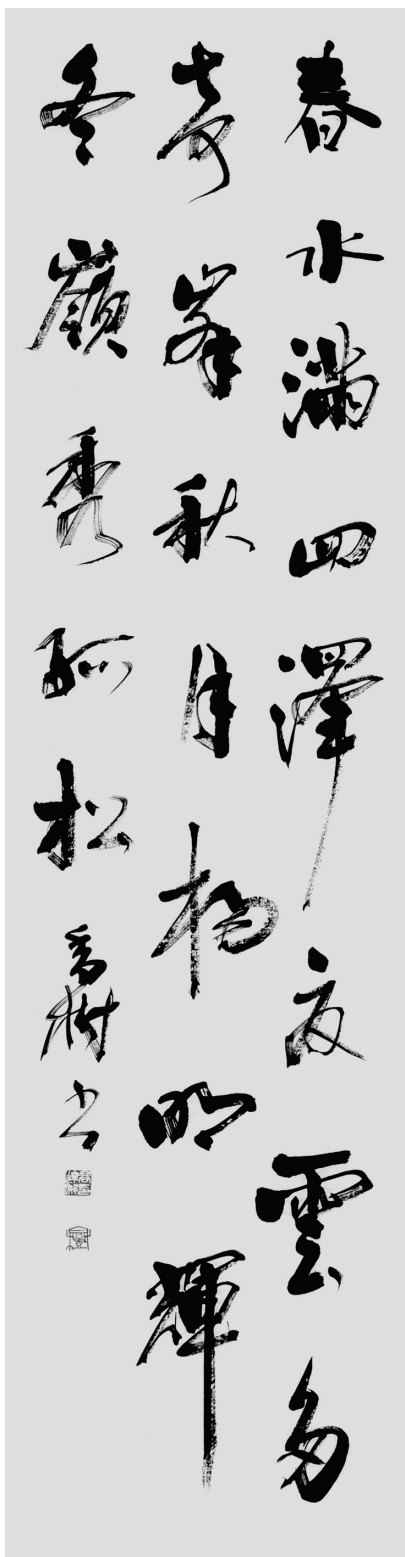
春水満四澤 夏雲多奇峰 秋月揚明輝 冬嶺秀孤松 (陶淵明)



B

高橋香樹会长書

「五絶」詩に習熟を——収め方は右行11字、左行9字が一般的。もちろん、10字ずつでも悪いということはありませんが、左行末の余白は、せめて一字位のゆとりをもたせたいと思います。墨継ぎは、多・冬。筆の大小、紙質、墨の含ませ方等によって幾分差ができるのは当然、2号の兼毫筆、紙は中国の普通の宣紙、筆は根元まで下ろして書いたものです。



課題二十字を行草体で三行に試みる。字間を広くあげ、筆線は太細を極端に、文字も大小をハッキリさせ、行は八・七・五の構成とした。「澤」の懸針は少し左にカーブさせ、「輝」は真下に引き抜くようにした。普段半切に使用している筆の為、多字数書け、墨継ぎは「雲」と「明」になっただけ。誤：春は水が四方の沢に満ち、夏は入道雲がすばらしい峰を形づくる。秋は月が明るく輝いて空高くかかり、冬は嶺にすくと立つ一本松の緑が鮮やかだ。

予告 (五月二十二日締切)

小徑荒苔人不到

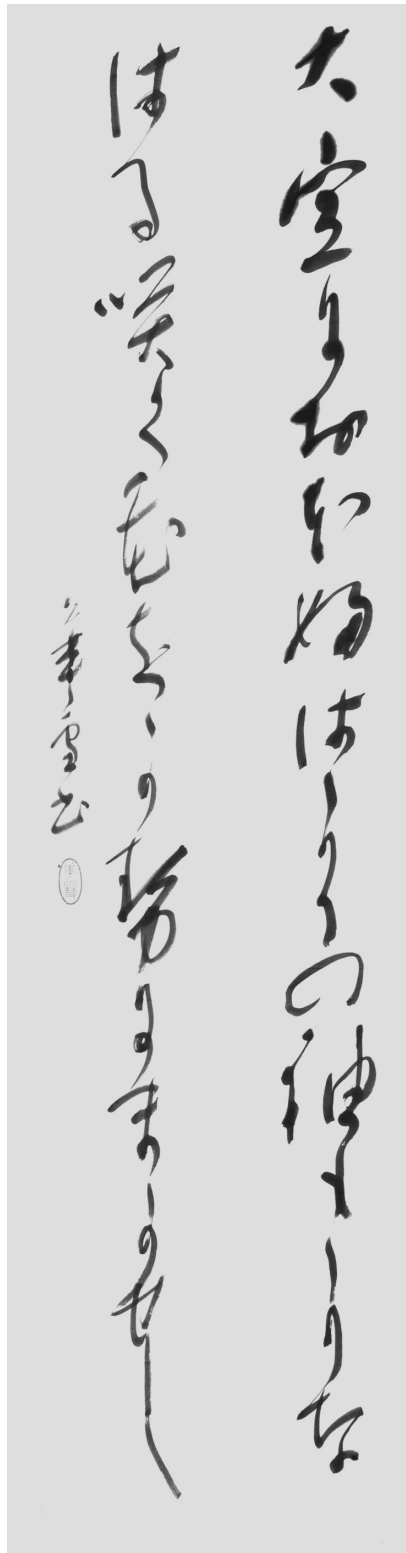
閉門問學換鷺書 (黄庚)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

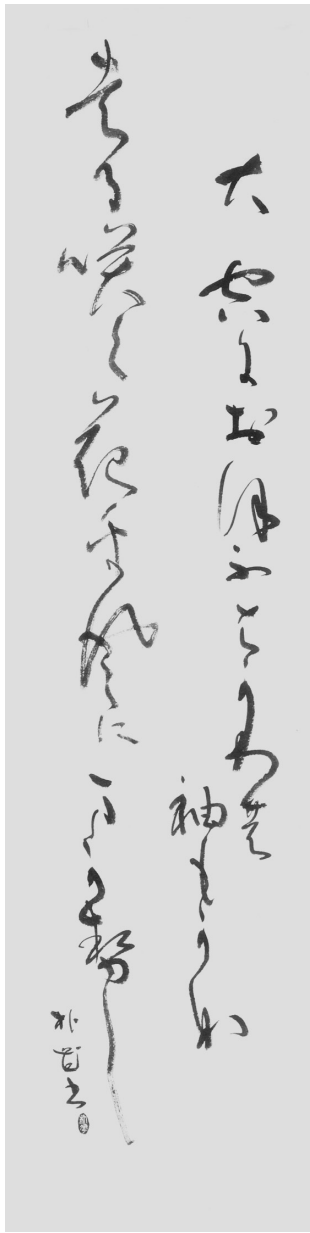
大空におほふ許の袖も哉春咲く花を風にまかせじ(後撰和歌集 よみ人しらず)
 大空におほふ許の袖も可なり
 大空にお本婦は可りの袖も可なるはる咲久花を可勢尔ま可せし



B

向山朴花先生書

大空にお保ふ者可利農袖も可那者る咲久花乎風に万可勢し



学び方

大空を覆う程の袖がほしい。咲く桜を風の思うままにさせない、との歌意。古典の大らかな歌なので、変体仮名を多用。更に二・三・四字連綿を入れて、流れを作るように試みました。そこで今回は、二字以上の文字を繋げる連綿と、実線は無く意(こころ)で繋ぐ意連の動きを意識しました。連綿は、上の字の終画から次字の一面目までを円滑な線で繋いでいき、意連は、気脈の流れで次字へ移行、放ち書きといわれる「間」です。線質の美を追求する事は永遠の課題だと思っています。

次に落款の位置についてですが、仮名作品の場合は終句をやや右に流すので、落款は作品の左下方に、小ぶりで控え目に置き、作品の一部として寄り添わせて作品全体を引き締めると教えられ、それに倣っています。

後撰和歌集は、平安時代村上天皇の下令により編纂された二番目の勅撰和歌集。全20巻。一四二五首。この歌集は、絢爛たる王朝文化が衰退し始めた頃、華やかなりし昔を振り返ったとも言われる。貴人の日常生活に基いた「藝」の歌、私的な贈答歌。又、古今集に採り残された貫之、伊勢以下、情趣的な歌も多く、歌物語の傾向も特徴とされる。

予告 (五月二十二日締切)

をしめどもとまらぬ春もあるものをいはぬにきたる夏衣かな(新古今和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条 幅 部 随 意 参 考

路川千曄先生書

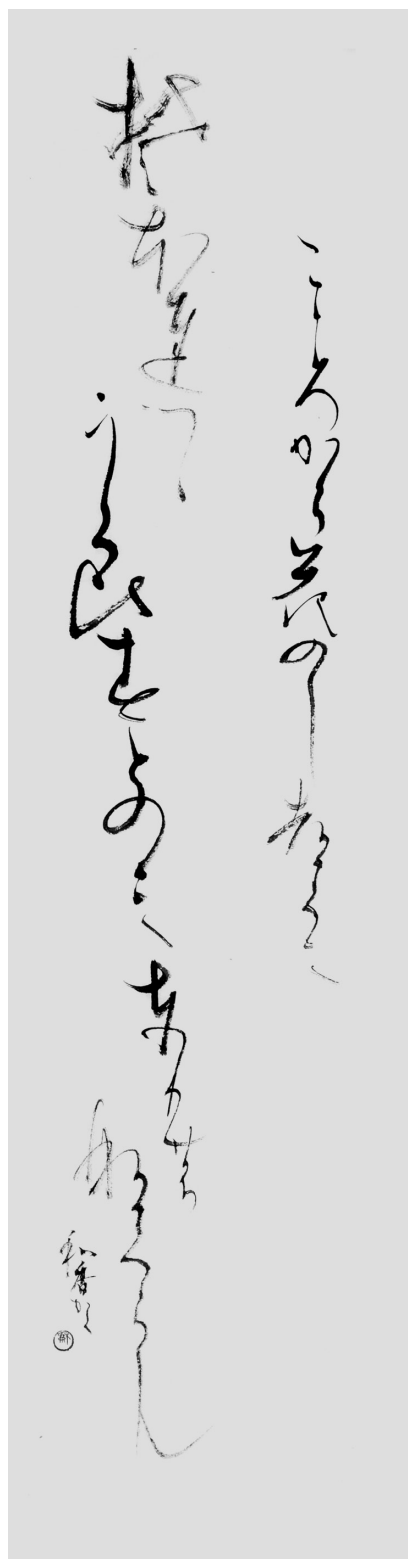
(罫) 山園花柳春風地。水浸樓臺夜月天。(于石)
 (台) 山は花柳を囲む春風の地、水は楼台を浸す夜月の天。

山園花柳春風地
 水浸樓臺夜月天
 千曄

訳：春風吹き渡って山は花や柳にかこまれ、夜月の上る時は水には楼台の影が映ずる。

小林和香先生書

心から花のしづくにそほちつゝ憂く干ずとのみ鳥のなく覽(古今和歌集 藤原敏行朝臣)
 こゝろから花のし都久二楚本選つゝう久比春との三東利農那久らん



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

水貝潮華先生書

目を入るとき痛からん雛の顔

長谷川 權



今回は、現代俳句を紙面いっぱい、大きめの文字で書いてみました。私はこの句を読んで、なるほどと感じ、「雛の顔」にポイントを置きました。「寄せ」を使いながら、一行目に多字を入れ、それに照合するように「雛の顔」を書き入れましたが、ゆったりと配字するだけではなく、墨量も、「目」「痛」「雛」でタツプリと入れています。紙も薄手でよく滲む物、筆は羊毛を選びました。皆さんは私とは違った表現を是非、試みて下さい。どのような作品が出品されるのかを、楽しみにしています。

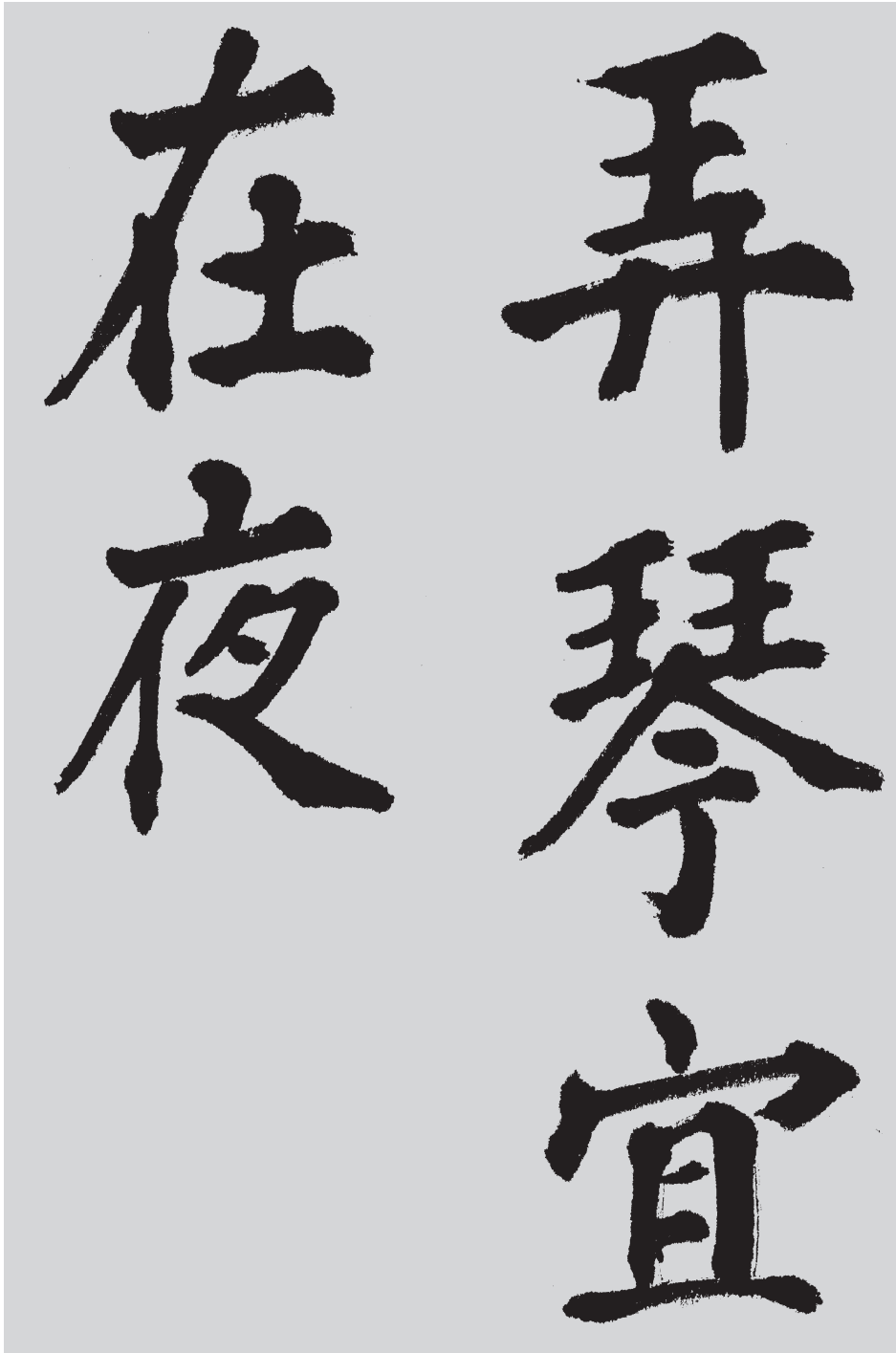
長谷川 權 (一九五四)

俳人、熊本県生まれ、東大卒。平井照敏に師事し、のちに飴山實に師事。

平成五年「古志」創刊・主宰。句集「古志」「天球」「果実」「蓬萊」。評論「俳句の宇宙」。丹念な対象描写を基盤に、その時その場で最もその描写にふさわしい気分を寄り添わせる作風。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

琴を弄すは宜しく夜に在るべし(宋之問)
訳…琴をかなでるのは夜がよい。

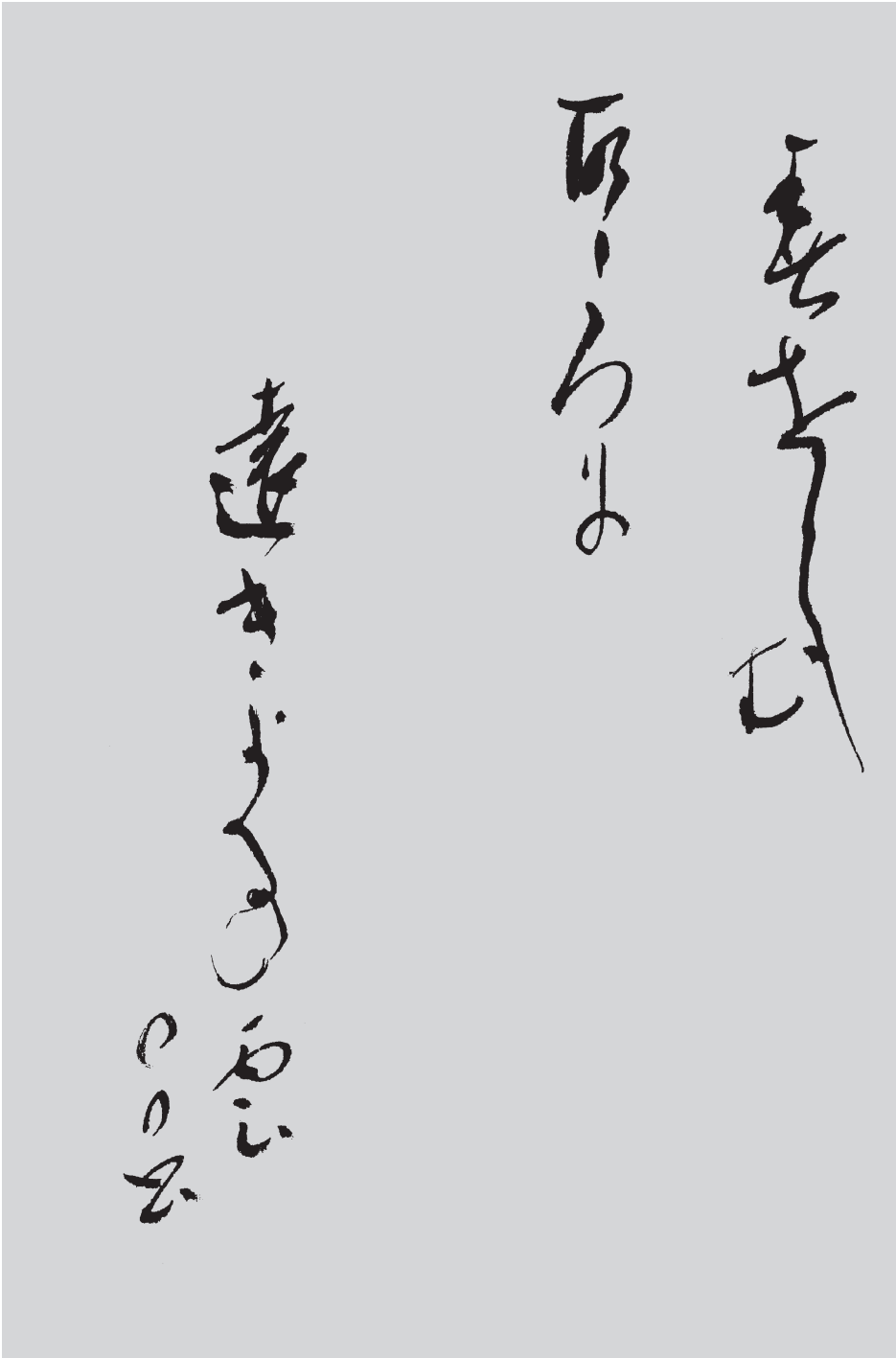
〈違った手法の試みを—〉
「琴」の「今」、楷書では終筆は一画離す。その二画を点にしたり、真下へ引いたり、右下へ向けてもよい。「夜」、一点一画の動かし方でいろいろな表情。一画目を離す、二画目を長く、三画目を少し寝かす…。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

春をしむ心に遠き夜の雲（白田亜浪）
春をしむ故、ろ尔遠きよるの雲



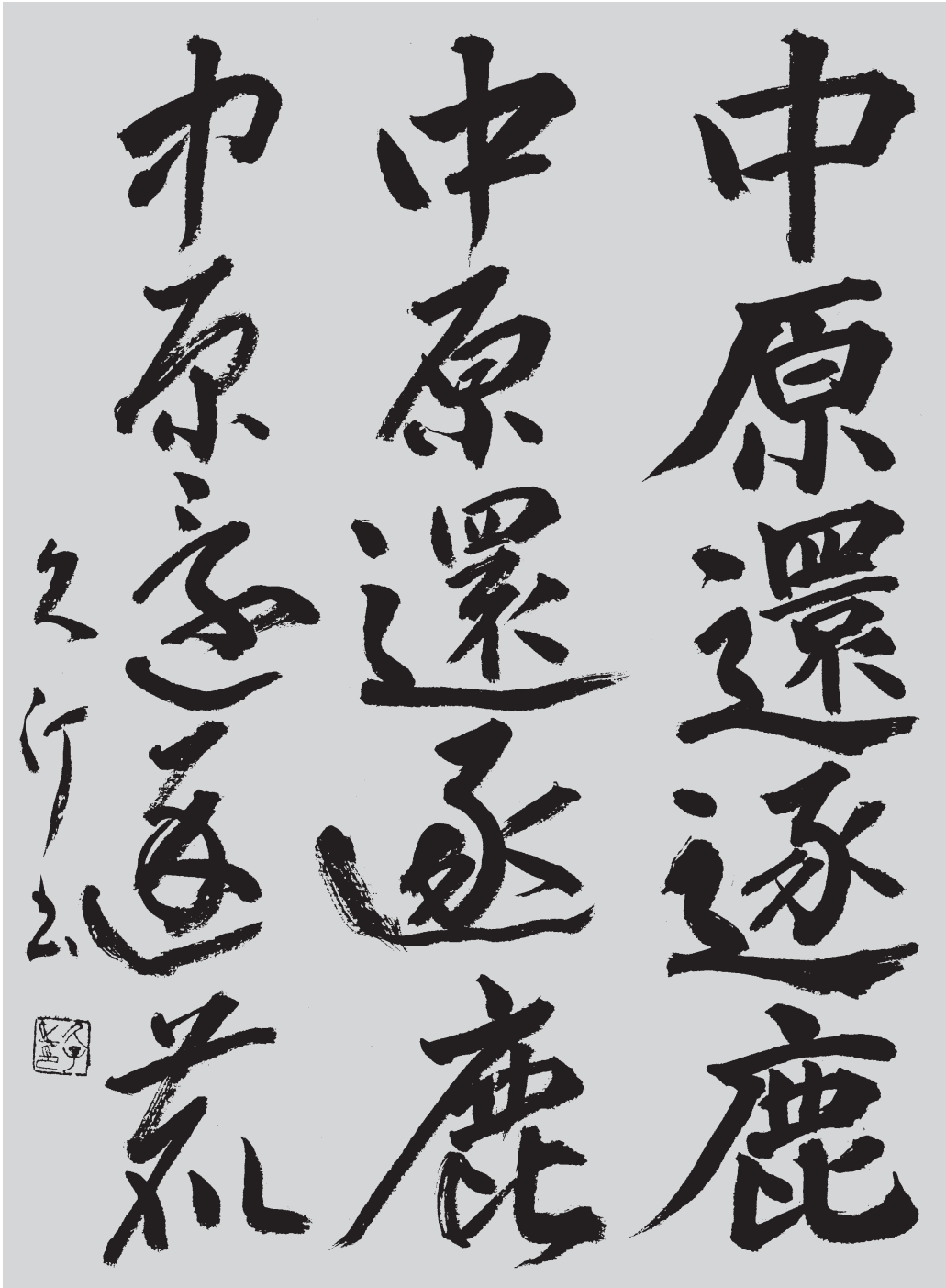
〈先ずは基礎練習を〉
用字は漢字三、変体がない二文字。少ないながら、事前にぜひ習熟してほしい。連綿も同様暗書できるよう習い込むこと。ただ重ね書きはムリでなく自然体でありたい。落款の位置も固定ではなく、余白との調和をポイントとしたい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

笹崎久汀先生書

中原還逐鹿（魏徵）
中原還た鹿を逐い



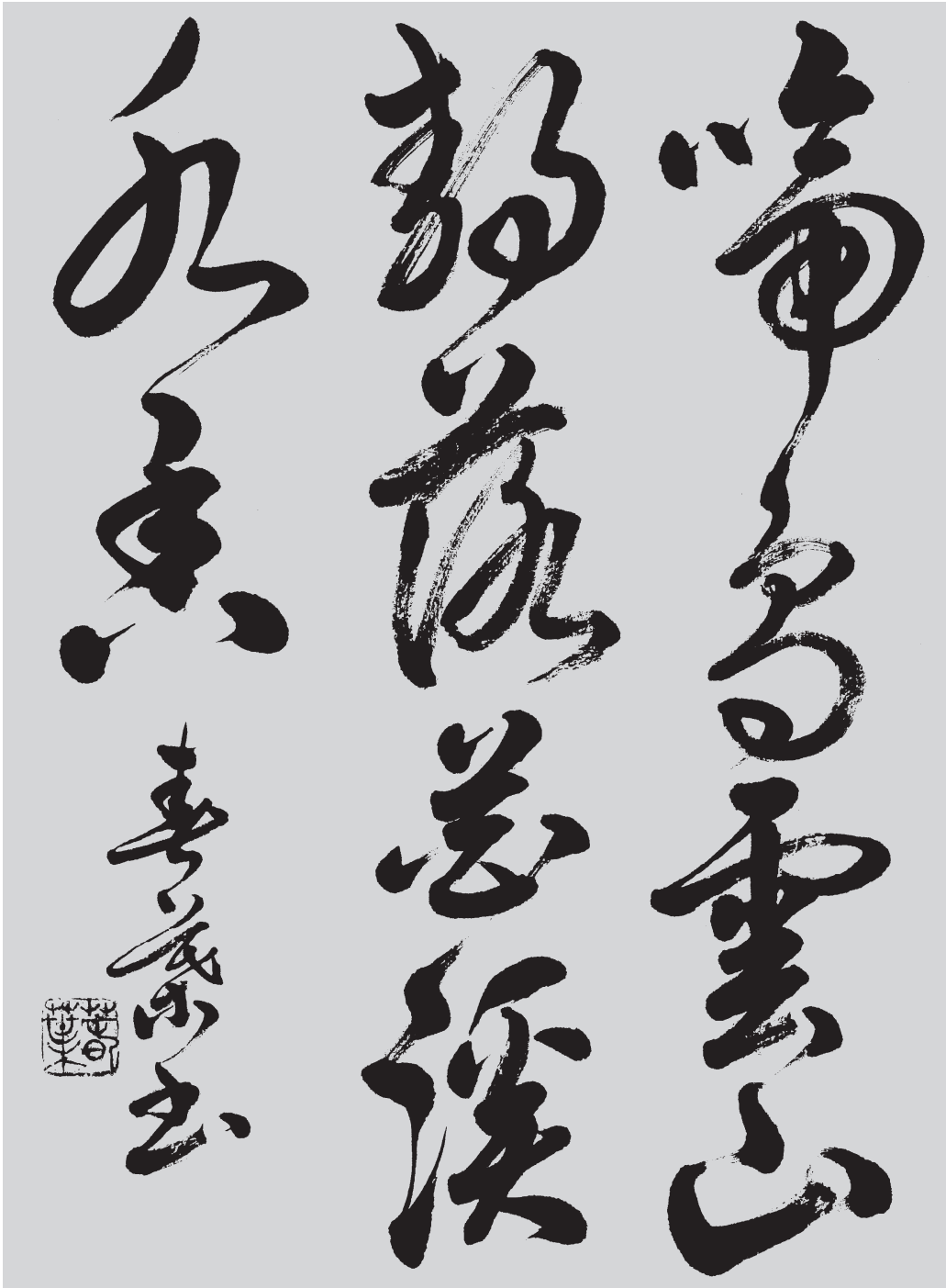
訳：中原還た鹿を逐い、（群雄が天下を制覇しようとして争い、）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

随 意 部 参 考

多
胡
春
葉
先
生
書

啼鳥雲山靜。落花溪水香。(徐貴)
啼鳥雲山靜かに、落花溪水香し。



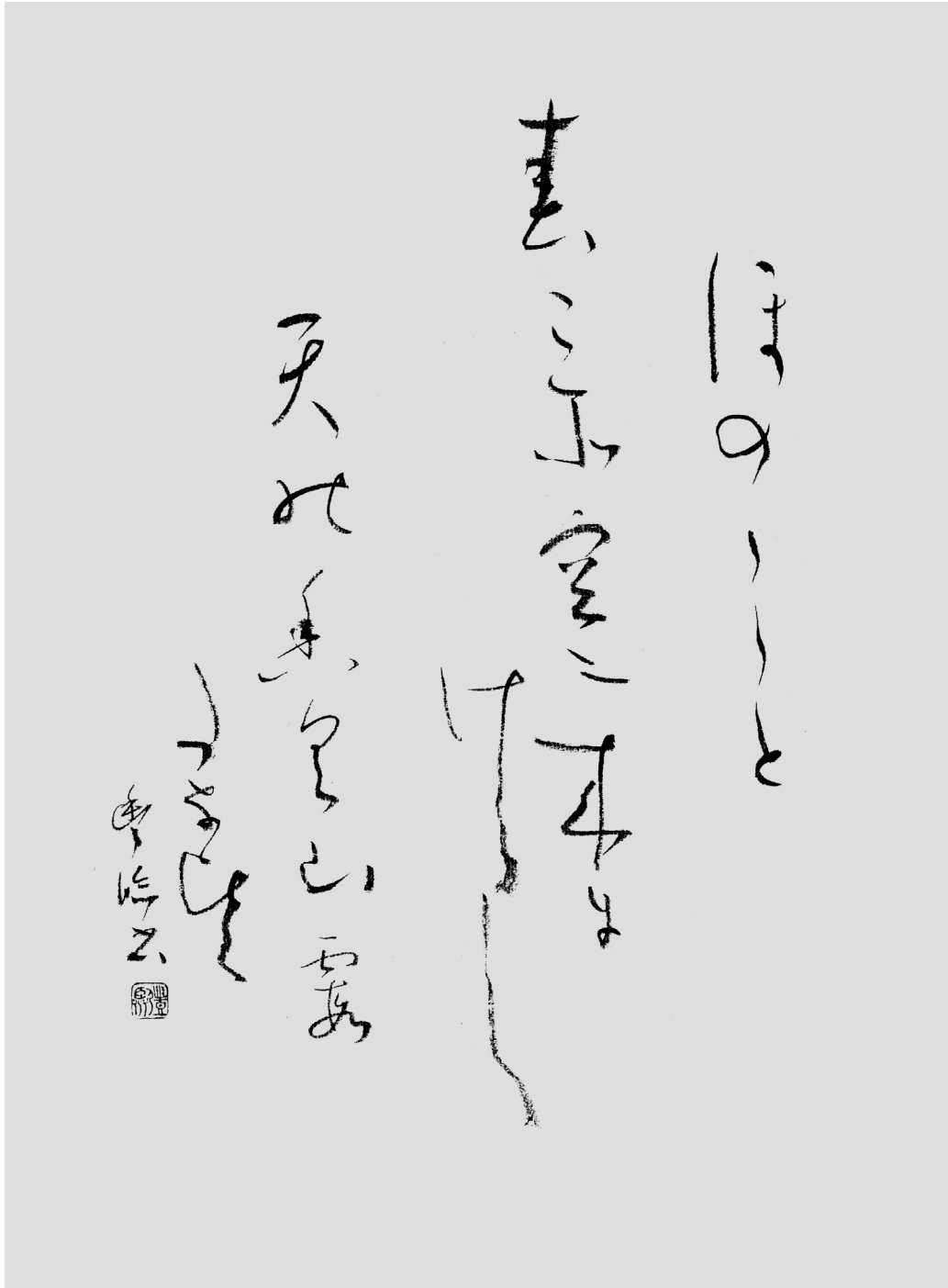
訳：雲のかかれる山に鳥が鳴いて静かに、谷川の水には落花が浮んで流れて香ばしい。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

吉原豊臨先生書

ほのくくと春こそ空にきけらし天の香具山かすみたなびく（新古今和歌集 大上天皇）
ほのくくと春こそ所空ニ来尔けらし天能香具山霞多奈比久



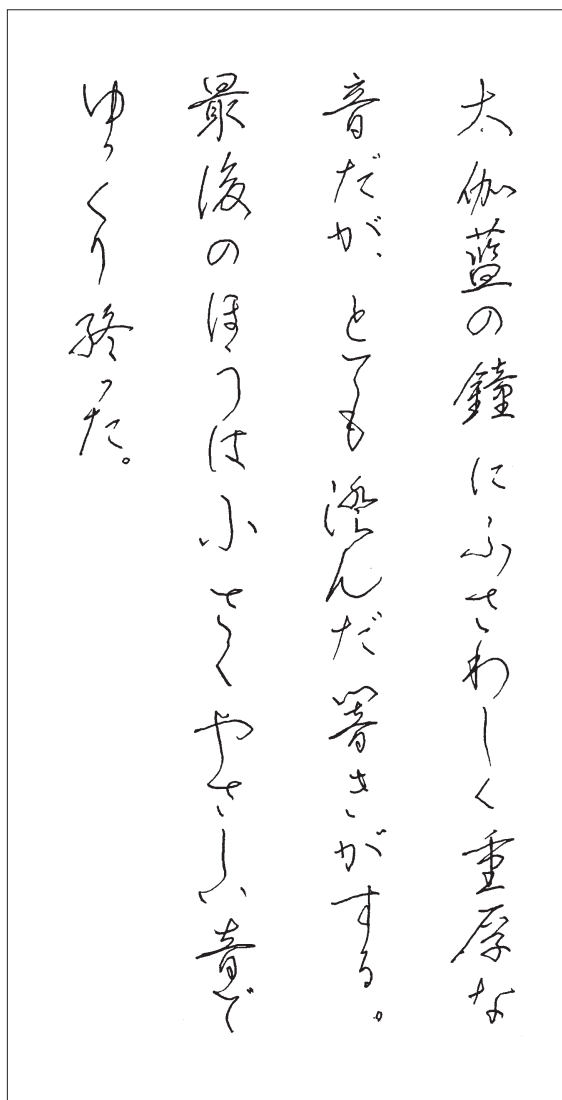
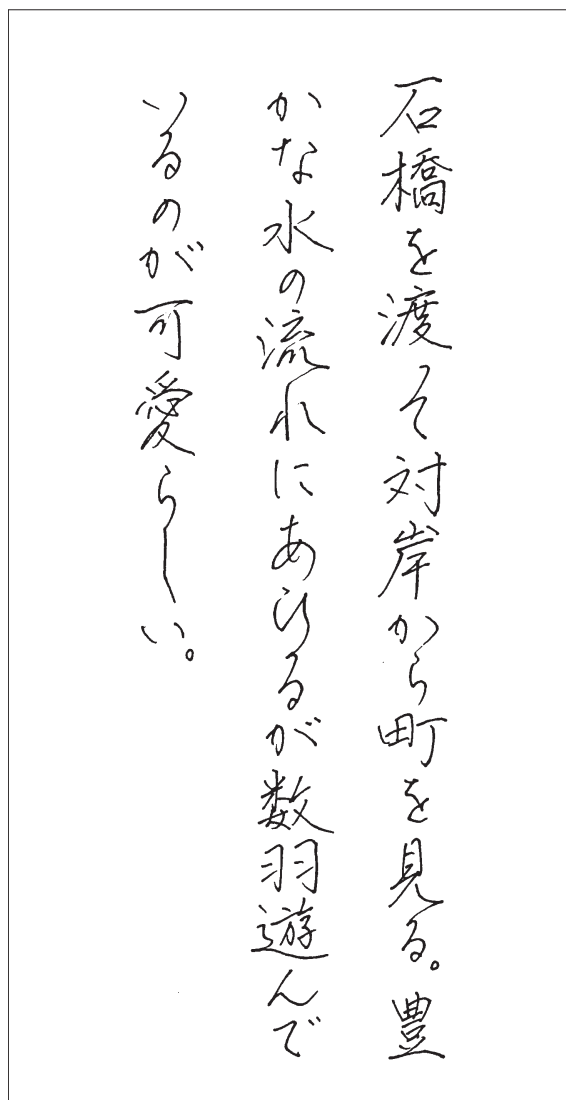
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

赤木典子先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

大伽藍の鐘にふさわしく重厚な音だが、とても澄んだ響きがする。最後のほうは小さくやさしい音でゆっくり終った。

「モノの風景紀行」佐々木三雄・綾子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段階以下)

石橋を渡って対岸から町を見る。豊かな水の流れにあひるが数羽遊んでいるのが可愛らしい。

「モノの風景紀行」佐々木三雄・綾子